
佐賀大学教育実践研究

第42号

別冊

《令和5年度 学部・附属共同研究実績報告書》

2024

佐賀大学教育学部
附属教育実践総合センター

報告項目一覧

1. 著 書
2. 学術論文
3. 授業実践事例研究論文
4. 学会等発表
5. 講演
6. 講習会
7. 授業実践
 - 1) 学部教員による附属園児、児童生徒への授業
 - 2) 附属学校教員と学部教員の共同（分科会指導助言）による公開研究授業（校内授業研究会を含む）
 - 3) 附属学校教員による学部学生への授業（教科教育法、教育実習事前・事後指導、教員養成実地指導等を含む）
 - 4) 附属学校教員による大学院学生への授業（実践授業研究、他等を含む）
 - 5) 附属学校教員の研究発表会による公開授業及び分科会への学部学生の参加
 - 6) 附属学校教員の研究発表会による公開授業及び分科会への大学院学生の参加
 - 7) 附属学校教員による学部学生への公開授業（学生の見学のみ）
 - 8) 附属学校教員による大学院学生への公開授業（学生の見学のみ）
8. 学部・附属間連携交流
 - 1) 学部附属交流教育（学生と児童生徒交流、部活動を含む）
 - 2) 附属間連携教育（児童生徒の連携教育を含む）
 - 3) 附属間交流教育（児童生徒の交流教育を含む）
9. 論文等の協力
 - 1) 学部教員のアンケート、実験等の協力
 - 2) 修士論文の協力
 - 3) 卒業論文の協力
10. その他大学(附属) への協力
11. 要項審議に関わる研究会（指導案検討を含む）
12. 学部・附属の教員による連携研究会（定期的な勉強会）
13. その他

(令和6年度学部・附属共同研究実績報告)

1. 著書					
著書、論文等の名称	著者(所属)	共著者(所属)	発行・発表年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概要(200字以内)
附属幼稚園					
附属小学校					
附属中学校					
附属特別支援学校					
代用附属本庄小学校					
ここからはじまる国語教室	江里口大輔(佐賀市立本庄小学校)	逢富洋二(佐賀大学)	2023.4.17	ひつじ書房	第6章「思考操作」を提案する p85, pp92-96
ここからはじまる国語教室	古賀太一朗(佐賀市立本庄小学校)	逢富洋二(佐賀大学)	2023.4.17	ひつじ書房	第1章「目標と年間計画」からはじめる p1, pp10-14
ここからはじまる国語教室	平田昌志(佐賀市立本庄小学校)	逢富洋二(佐賀大学)	2023.4.17	ひつじ書房	第7章「言語活動」を位置づける pp106-110
代用附属西与賀小学校					
代用附属城西中学校					
2. 学術論文					
著書、論文等の名称	著者(所属)	共著者(所属)	発行・発表年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概要(200字以内)
附属幼稚園					
附属小学校					
STEAM教育における知識構築プロセスモデルについての実践的検討	後藤大二郎(佐賀大学)	北島光浩(附属小学校) 米田重和(佐賀大学)	2024.3-25	日本科学教育学会「科学教育研究」	STEAM教育の学習プロセスについて様々なモデルが示されており、後藤・米田(2023)が概括し、STEAM教育における知識構築モデルを指定している。本研究の目的はこのモデルを授業実践例に基づいて分析することにより新たなモデルを提案するである。
附属中学校					
附属特別支援学校					
代用附属本庄小学校					
どうすれば閉じた教科書だけの学習を開くことができるか	江里口大輔(佐賀市立本庄小学校)		2024.02.28	佐賀大学国語教育学会、「佐賀大國語教育」第8号	本研究では、教師として「どうすれば閉じた教科書だけの学習を開くことができるか」という問いを立て、実践的に考察を行い、閉じた教科書だけの学習を開くための単元づくりには、確かな学習課題の設定と複数の学習教材を準備したり提示したりすることが有効であることを明らかにすることができた。
代用附属城西中学校					
3. 授業実践事例研究論文					
研究テーマ	著者(所属)	共同研究者(所属)	発行・発表年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概要(200字以内)
附属幼稚園					
幼大連携強化の試み —幼児理解と子育て支援に焦点をあてて—	石井宏祐・名倉一美・ 日高茂輔・芳野正昭 (教育学部)	武藤亜佐子(附属幼)	2024年2月	佐賀大学教育実践研究42号	国立大学附属幼稚園の存続が問われている今、質の高い幼児教育を実践し、幼稚園としての使命や役割を果たしていくため、保育の質の向上に資する幼大連携の強化として令和4年度から行った6つの活動を報告した。
附属小学校					
数理への学びを味わう算数科授業づくりの一考察 —小学校第6学年「拡大図と縮図」を通して—	北島光浩(附属小学校)	廣瀬圭吾(附属小学校)	2023-11-26	佐賀大学教育実践研究論文	令和5年度、附属小学校算数部では「数理への学びを味わう算数科授業づくり」について研究を進めている。本稿は、その研究の実践を小学校第6学年「拡大図と縮図」の学習を通じた実践報告として提示する。
数理への学びを味わう算数科授業づくりに向けた具体的な実践例 —令和5年度「佐賀大学教育学部附属小・中学校教育研究発表会」当日資料より—	北島光浩(附属小学校)	(附属小学校)立石耕一(唐津市立浜崎)	2023-11-26	佐賀大学教育実践研究論文	本資料では、附属小学校算数部で取り組む「数理への学びを味わう算数科授業づくり」について研究を進めている。本稿は、その具体的実践事例として、指導案と実践報告を提示する。
附属中学校					
化学変化を身近に感じることのできる理科の授業づくり —知育菓子の活用を通して—	岡本洋平(附属中)	嶋正勝(教育学部)	2024年3月	佐賀大学教育学部附属教育実践総合センター、佐賀大学教育実践研究 第42号	本校理科では、課題の把握・課題の追求・課題の解決という大きく3つの過程に分けて、単元や章の構成を行っている。今回の授業では、第2学年の単元1「化学変化と原子・分子」において、化学変化を身近に感じることのできる教材として、知育菓子である「ねるねるね」がどのような化学変化を活用したものか考察する授業を実践した。
ICT利活用の工夫で「学習の個性化」を目指す中学校社会科学習 —第1学年歴史的分野「古代国家の成立」の実践を通して—	山岡貴秀(附属中)	黒田圭介(教育学部)	2024年3月	佐賀大学教育学部附属教育実践総合センター、佐賀大学教育実践研究 第42号	本稿は、文部科学省が提唱する「個別最適な学習」を実現するためのキー概念のひとつである「学習の個性化」に注目した、中学校第1学年社会科歴史的分野の単元開発及びその実際を紹介することを目的としている。「学習の個性化」を実現するために、ICT利活用と学習形態を工夫することが有効であると考え、それらを体系的に取り入れた中学校社会科学習の在り方を提案する。

附属特別支援学校					
好きなことから思考を深めたり広げたりする生徒の育成 ～数学科「いろいろな形」(第1次)を通して～	道脇誠(附属特支)	松山郁夫(教育学部)	2024年1月	佐賀県特別支援教育研究会研究機関誌「ともしびその6」	単元に導入時に生徒の興味関心を生かした活動やゲーム性を取り入れたことにより、意欲的に学習に取り組む姿が見られた。また、立方体の展開図を見付ける活動にあたって、正方形の厚紙やテープなど操作しながら思考できる教材を準備したところ、生徒の思考のプロセスを明らかにすることができた。
「学校改善プロジェクトⅡ～よりよい学校生活を送るために考え実行しよう～」の生活単元学習を通して	岡智亜紀・後藤 滋夫(附属特支)	芳野正昭(教育学部)	2023年9月	日本教育公務員弘済会教育研究助成	コミュニケーション実態把握リストを作成し、高等部A生徒を対象として実態把握を行い、年間のねらいを設定した。そのねらいを基に、本人が活動の見直しをもち安心して取り組めるような指導・支援を行ったことにより、自信をもって発言する姿が見られるようになった。
知的障害特別支援学校における伸ばしたい「思考力、判断力、表現力」に関する一考察 ～特別支援学校学習指導要領的障害各教科の「思考力、判断力、表現力等」の目標との関連から～	小野真智子・山北史隆・後藤滋夫(附属特支)	芳野正昭(教育学部)	2024年3月	佐賀大学教育学部附属教育実践総合センター、佐賀大学教育実践研究第42号	本校職員の意識調査を基に整理した【伸ばしたい「思考力、判断力、表現力」と特別支援学校学習指導要領に記載された知的障害である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科の「思考力、判断力、表現力等」の目標を照合したところ、両者の関連は大きいことが考察された。
知的障害特別支援学校小学部におけるイメージを広げて主体的に活動する児童の育成 ～「A組なつまつり」の生活単元学習を通して～	廣瀬 優佳里・小柳 浩貴(附属特支)	松山郁夫(教育学部)	2024年3月	佐賀大学教育学部附属教育実践総合センター、佐賀大学教育実践研究第42号	低学年の学級における生活単元学習「A組なつまつり」を通して、児童の興味・関心を授業に取り入れていくための手立て、授業テーマに関する児童のイメージを豊かに広げていくための手立て、児童が自分のイメージや思いを基に、主体的に活動するための手立てを明らかにすることができた。
代用附属本庄小学校					
自らの学習を調整しようとする態度を支える学習評価の在り方-評価規準・評価方法・評価時間・評価結果の共有方法の検討-	鞘池彰裕(佐賀市立本庄小学校)	なし	令和5年3月	佐賀大学教育実践研究第42号	自らの学習を調整しようとする態度を支える学習評価の在り方について、小学校での国語科単元学習の事例を通して考察した。本研究の方法として、国語科「読むこと」の単元学習を分析し、評価の方針等を共有した場合自らの学習を調整しようとする態度をどのように読み取ることができるかを検討する。その結果、自らの学習を調整しようとする態度を支援するためには、評価規準・評価方法・評価時間・評価結果を共有し、子供の学びを意味付けたり、価値付けたりすることが有効であることが明らかになった。
代用附属西与賀小学校					
代用附属城西中学校					
4.学会等発表					
研究テーマ	著者(所属)	共同研究者(所属)	発行・発表年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概要(200字以内)
附属幼稚園					
附属小学校					
教理への学びを味わう算数科授業づくり ～「速さ」の学びを日常へ広げる授業を通して～	北島光浩(附属小学校)		2024-8-10	第105回全国算数・数学研究(青森)大会	本研究では、児童が状況に応じて問いをもち、未知の教理を探究する中で、数学的な見方・考え方を働かせたり、見いだしてきた教理を用いたりすることのよさを実感する姿を「教理への学びを味わう」と定義し、研究する。
附属中学校					
中学校社会科地理における微地形判読を通して水害ハザードマップの評価活動事例	黒田圭介(教育学部)	山岡貴秀(附属中)	2023年9月	2023年日本地理学会秋季学術大会	本件では、特に水害に対する防災教育の事例として、新旧地形図の比較による微地形判読を中学校2年生における社会科地理分野に導入した事例を報告する。具体的には、氾濫原における土地利用と微地形の関係をデジタルマップで読み取り、その情報をもとに生徒の自宅周辺のハザードマップを確認し、有事の際に避難するのに適した避難所の評価を行なった。
中学校地理的分野と公民的分野の接続を意識した防災教育実践～新規避難所の検討と自治体への開設の要望活動を事例に～	黒田圭介(教育学部)	山岡貴秀(附属中)	2024年3月	2024年日本地理学会春季学術大会	
附属特別支援学校					
絵を描く宿題の取組 ～Aさんの好きなことから～	道脇誠(附属特支)		2023年8月	令和5年度第68回九州連特別支援教育部会「大分大会(オンライン)」	A生徒が好きな絵を描くことを宿題として1年間取り組んだところ、描きたい事柄を伝えたり、描いたものについて友達とやりとりをしたりなどのコミュニケーション力の伸長が図られた。また、教師がA生徒の内面を理解する視点ともなった。
代用附属本庄小学校					
代用附属西与賀小学校					
教科等名					
代用附属城西中学校					
教科等名					

5.講演					
講演会名	講演者	対象	期日	テーマ	概要(200字以内)
附属幼稚園					
公開保育研究会	名倉一美(教育学部)	県内外保育関係者他	2024年2月12日	遊びの環境は幼児理解から始まる	幼児教育では、幼児期の「直接体験」を通して育つ、「行動の原動力は「今」、「楽しい」から」という2つの特性に応じて「遊び」が重要視されているが、保育・幼児教育には子どもの「最善の利益」及び「健やかな成長」の保障という目的があるため、ただ遊ばせていけばいいわけではなく、保育者の思いや願い(わらい・意図)を環境に込め、子供の欲求とのバランスを図りながら、保育をしていく必要があることをお話いただいた。
附属小学校					
学部・小中教育研究発表会	澤井 陽介 (大妻女子大学 教授)	県内の教職員	7月25日	見方・考え方を働かせて深い学びを目指す授業づくりの具体策	
附属中学校					
附属特別支援学校					
小学部学校見学及び教育相談	森崎由紀(附属特支)	本校小学部への入学を検討している保護者や関係者	6月30日	佐賀市や周辺地区の障害のある幼児及び保護者・関係者に対しての学校見学会	学校概要及び小学部の教育について説明を行った。その後、施設見学と授業参観を実施した。
中学部学校見学及び教育相談	吉富さつき(附属特支)	本校中学部への入学を検討している保護者や関係者	7月7日	佐賀市や周辺地区の障害のある児童及び保護者・関係者に対しての学校見学会	学校概要及び中学部の教育について説明を行った。その後、施設見学と授業参観を実施した。
高等部学校見学及び教育相談	徳島崇(附属特支)	本校高等部への入学を検討している保護者や関係者	7月12日 9月15日	佐賀市や周辺地区の障害のある生徒及び保護者・関係者に対しての学校見学会	学校概要及び高等部の教育について説明を行った。その後、施設見学と作業学習参観を実施した。
教職員向け学校説明会	山北史隆・森崎由紀・吉富さつき・徳島崇(附属特支)	知的障害特別支援学級担任、特別支援教育コーディネーター、市町教育委員会担当者等	8月30日	本校の教育活動の周知啓発及び、参加者の所属校における就学や進路指導に係る説明等	主に、小・中学校における支援が必要な児童生徒を担当する教職員に、本校の教育活動を伝え、理解を深めてもらうよう、学校や学部の教育及び入学者募集についての説明や施設見学を実施した。
代用附属本庄小学校					
代用附属西与賀小学校					
代用附属城西中学校					
6.講習会					
講習会・講座名	講師	共同者	期日	テーマ	概要(200字以内)
附属幼稚園					
子育て談話室	武藤亜佐子(附属幼)		2024年2月9日	幼児期に大事にしたいこと	幼児期に大事にしたいことについて、本園の保育で大事にしていることと関連させてお話した。幼児期に全身を使い五感+二感を使って遊ぶことで育まれる力を、感覚統合の観点と非認知能力の観点からお話した。また、この時期、親子の間で交わされる応答的なやりとりの重要性についてお話した。
附属小学校					
附属中学校					
附属特別支援学校					
代用附属本庄小学校					
代用附属西与賀小学校					
代用附属城西中学校					

7.授業実践					
1)学部教員による附属園児、児童生徒への授業					
期日	指導者(所属)	共同研究者(所属)	対象	教科	テーマ及び概要(200字以内)
附属幼稚園					
11月16日	鳥谷 さやか (芸術地域デザイン学部)	吉田美由紀 寺町幸代(附属幼)	年長児	染色工芸	年長児の保育室やテラスで鳥谷先生に絞り染めの方法を説明していただき、鳥谷先生に製作の指導を受けながら、園児がオリジナルハンカチを作る。
12月5日	田中 右紀 (芸術地域デザイン学部)	吉田美由紀 寺町幸代(附属幼)	年長児	工芸	幼稚園のゆうぎ室で園児が卒園制作を行う。田中先生に指導を受けながら、園児のイメージに合わせ焼き物用の粘土で作品を作る。
附属小学校					
附属中学校					
期日	指導者(所属)	テーマ		概要(200字以内)	
附属特別支援学校					
代用附属本庄小学校					
代用附属西与賀小学校					
代用附属城西中学校					
10月12日	永山智英(城西中)	川中子正(教育学部)大林将具(教育学部)	校内外の教員ほか	数学	中学2年生の数学「一次関数」の単元の授業において、本校が授業改善を研究実践する際にテーマとしている「主体的・対話的に学びを深める生徒の育成～開発的生徒指導による個性の伸長・学びに向かう集団づくりによる学力向上～」の目標に即した公開授業研修会を実施し、他校の教員や外部の教育関係者に対しても参観の呼びかけをおこなった。
2)附属学校教員と学部教員の共同(分科会指導助言)による公開研究授業(校内授業研究会を含む)*研究発表会等の授業を入れる。					
期日	指導者(所属)	共同研究者(所属)	対象	教科	テーマ及び概要(200字以内)
附属幼稚園					
6月14日	岩永圭子 吉田美由紀 富村美月 古瀬由季 横尾 恵里 吉原真理子 永瀨磨夕 武藤亜佐子(附幼)	名倉一美(教育学部)	県内幼児教育・保育初任者	幼児・保育初任者研修園外研修	県内の幼児教育・保育初任者に本園の自由保育を公開及び協議会における助言
6月22日	吉田美由紀(附幼)	名倉一美(教育学部)	県内教育 保育施設関係者	5歳児保育研究会	本園の保育を公開し、保育について意見交換を行った。
10月19日	富村 美月 永瀨 磨夕(附幼)	名倉一美(教育学部)	県内教育 保育施設関係者	4歳児保育研究会	本園の保育を公開し、保育について意見交換を行った。
12月15日	古瀬 由季 吉原 真理子(附幼)	名倉一美(教育学部)	県内教育 保育施設関係者	3歳児保育研究会	本園の保育を公開し、保育について意見交換を行った。
2月12日	岩永圭子 吉田美由紀 富村美月 古瀬由季 横尾 恵里 吉原真理子 永瀨磨夕 寺町幸代 武藤亜佐子(附幼)	石井宏祐 日高茂暢(教育学部)	県内外教育 保育施設関係者他	公開保育研究会	本園の保育を公開し、本園の研究テーマ「保育の質を高める環境を探る」について理解を深めてもらい、保育について研修する場を設けた。
附属小学校					
7月24日	石松加奈子	栗山裕至(教育学部)	県内外の小学校教諭 大学生	図画工作科	社会で生きて働く資質・能力の育成というテーマで、深い学びの実現を通してというサブテーマを掲げて授業実践に取り組んだ。
7月24日	松尾達也	竜田 徹(教育学部)	県内外の小学校教諭 大学生	国語科	社会で生きて働く資質・能力の育成というテーマで、深い学びの実現を通してというサブテーマを掲げて授業実践に取り組んだ。
7月24日	矢川亮太	成松美枝(教育学部)	県内外の小学校教諭 大学生	特別活動	社会で生きて働く資質・能力の育成というテーマで、深い学びの実現を通してというサブテーマを掲げて授業実践に取り組んだ。
7月24日	渡島優衣	中西雪夫(教育学部)	県内外の小学校教諭 大学生	家庭科	社会で生きて働く資質・能力の育成というテーマで、深い学びの実現を通してというサブテーマを掲げて授業実践に取り組んだ。

7月24日	山本修三	岡島俊哉・後藤大二郎 (教育学部)	県内外の小学校教諭 大学生	理科	社会で生きて働く資質・能力の育成というテーマで、深い学びの実現を通してというサブテーマを掲げて授業実践に取り組んだ。
7月24日	松下大介	林 裕子・吉村 圭 (教育学部)	県内外の小学校教諭 大学生	外国語科	社会で生きて働く資質・能力の育成というテーマで、深い学びの実現を通してというサブテーマを掲げて授業実践に取り組んだ。
7月24日	中尾通孝	竜田 徹(教育学部)	県内外の小学校教諭 大学生	国語科	社会で生きて働く資質・能力の育成というテーマで、深い学びの実現を通してというサブテーマを掲げて授業実践に取り組んだ。
7月24日	島崎智明	栗山裕至(教育学部)	県内外の小学校教諭 大学生	図画工作科	社会で生きて働く資質・能力の育成というテーマで、深い学びの実現を通してというサブテーマを掲げて授業実践に取り組んだ。
7月24日	小林佳愛	林 裕子・吉村 圭 (教育学部)	県内外の小学校教諭 大学生	外国語活動	社会で生きて働く資質・能力の育成というテーマで、深い学びの実現を通してというサブテーマを掲げて授業実践に取り組んだ。
7月24日	溝口賢一	岡島俊哉・後藤大二郎 (教育学部)	県内外の小学校教諭 大学生	理科	社会で生きて働く資質・能力の育成というテーマで、深い学びの実現を通してというサブテーマを掲げて授業実践に取り組んだ。
7月24日	田中大介	名倉一美(教育学部)	県内外の小学校教諭 大学生	道徳科	社会で生きて働く資質・能力の育成というテーマで、深い学びの実現を通してというサブテーマを掲げて授業実践に取り組んだ。
7月25日	北島光浩	米田重和(教育学部)	県内外の小学校教諭 大学生	算数科	社会で生きて働く資質・能力の育成というテーマで、深い学びの実現を通してというサブテーマを掲げて授業実践に取り組んだ。
7月25日	廣瀬圭吾	米田重和(教育学部)	県内外の小学校教諭 大学生	算数科	社会で生きて働く資質・能力の育成というテーマで、深い学びの実現を通してというサブテーマを掲げて授業実践に取り組んだ。
7月25日	寺田隆宏	堤 公一(教育学部)	県内外の小学校教諭 大学生	体育科	社会で生きて働く資質・能力の育成というテーマで、深い学びの実現を通してというサブテーマを掲げて授業実践に取り組んだ。
7月25日	白井雄大	竜田 徹(教育学部)	県内外の小学校教諭 大学生	国語科	社会で生きて働く資質・能力の育成というテーマで、深い学びの実現を通してというサブテーマを掲げて授業実践に取り組んだ。
7月25日	御厨有花	荒巻治美(教育学部)	県内外の小学校教諭 大学生	音楽科	社会で生きて働く資質・能力の育成というテーマで、深い学びの実現を通してというサブテーマを掲げて授業実践に取り組んだ。
7月25日	中尾彩香	荒巻治美(教育学部)	県内外の小学校教諭 大学生	音楽科	社会で生きて働く資質・能力の育成というテーマで、深い学びの実現を通してというサブテーマを掲げて授業実践に取り組んだ。
7月25日	宮司健太郎	堤 公一(教育学部)	県内外の小学校教諭 大学生	体育科	社会で生きて働く資質・能力の育成というテーマで、深い学びの実現を通してというサブテーマを掲げて授業実践に取り組んだ。
7月25日	堀元公幹	後藤正英(教育学部)	県内外の小学校教諭 大学生	社会科	社会で生きて働く資質・能力の育成というテーマで、深い学びの実現を通してというサブテーマを掲げて授業実践に取り組んだ。
7月25日	阿嘉明彦	黒田圭介(教育学部)	県内外の小学校教諭 大学生	生活科	社会で生きて働く資質・能力の育成というテーマで、深い学びの実現を通してというサブテーマを掲げて授業実践に取り組んだ。
7月25日	本田 隆	後藤正英(教育学部)	県内外の小学校教諭 大学生	社会科	社会で生きて働く資質・能力の育成というテーマで、深い学びの実現を通してというサブテーマを掲げて授業実践に取り組んだ。
附属中学校					
11月2日	田中達也、立石哲朗、山岡貴秀	黒田 圭介 (教育学部)	県内外の教職員	社会	テーマ:自ら社会に参画する社会科の学び~自らよりよい社会の在り方を問い続け、実践する生徒の育成~ 概要:正統的周辺参加の理論を基に、教室内での学びを社会へとつなげていくことを視野にしたパフォーマンス課題を、生徒が議論を通して選択する場面を公開した。「現代社会の見方・考え方を働かせる手立てが有効であったか」というテーマで授業研究会を行った。
11月2日	山崎寛己、岡本洋平、高園和憲	嶋 正勝・後藤 大二郎 (教育学部)	県内外の教職員	理科	テーマ:化学変化とイオン・ダニエル電池 課題の解決について 概要:今年度は、「課題の解決」に着目し、見方・考え方を働かせる手立てを追求した。本時の授業では、ダニエル電池に関する1つの課題が解決した際、そこから新たな課題が見つかり、学びが循環するように授業を構成した。「今回のこの手立てが有効であったか」というテーマで授業討論会を行った。
11月2日	野口知孝、岩田美穂、中原悠樹	竜田徹(教育学部)	県内外の教職員	国語	テーマ:主体的な学びを促す国語科単元づくりの探究 概要:主体的な学びを促すうえで、学習教材の選択という手立ての有効性について研究を行った。研究授業においては、『走れメロス』の主題を追究するうえで、物語に合う楽曲を選ぶという言語活動を行った。研究協議会においては、授業を中心に選択という手段の有効性について検討を行った。
11月2日	大浦穂美香、仲山知宏、江口徹	米田重和(教職大学院)	県内外の教職員	数学	テーマ:「考える楽しさ」や「わかる喜び」を味わわせる授業づくり 概要:「数学的な見方」と「数学的な考え方」の働きを明確にし、それぞれの見方や考え方を働かせる手立てを追求した。本時の授業では、働かせたい「数学的な見方・考え方」を、「視力3.0を測る方法」について、視力、ランドルト環の直径、距離の関係に着目することで、演繹的に推論することとした。授業討論会では、見方・考え方を働かせる手立ての有効性について検討を行った。
11月2日	原田俊、川副紀子、田中典子	吉村圭(教育学部)	県内外の教職員	英語	テーマ:A Legacy for Peace 概要:ガンディーについての様々な見解から、自分の考えを形成、整理、再構築することをねらいとして研究授業を実施した。本時の授業では、ガンディーの生い立ちについて自分でテーマを見つけ、そのテーマを追究していき、様々な見方、考え方を働かせながら、ペアで会話をした。またペアからの質問、意見をもとに自分の考えを再構築していった。研究協議会では、見方考え方の手立てが有効であったのかについての議論を実施した。
11月2日	山下薫、釘本聡子、秀島充彦	堤 公一(教職大学院)	県内外の教職員	保健体育	テーマ:SAGA2024からスポーツのかかわり方について学ぶ 概要:保健体育の見方・考え方における「見る」「知る」の内容を国スポ・全障スポを題材に、スポーツの楽しみ方や楽しむための工夫を多面的・多角的な視点で考察し、「支える」の視点で開閉会式を創造する中で深い学びとなるよう授業を構成した。授業研究会では、見方・考え方を働かせる手立ての有効性について検討を行った。
11月2日	嶋航希	今井治人(教育学部)	県内外の教職員	音楽	テーマ:附中校歌をリニューアル 創作 和声進行 概要:今年度は、表したいイメージと聞わせて校歌の間奏や後奏を作曲する活動を行った。本時の授業では、前時までにつくった旋律に使われている音と和音の構成音との関わりに着目させ、基本的な和声進行で伴奏をつける活動を公開した。授業研究会では、創作活動の手立てや個別最適な学びについて討論を行った。

11月2日	砂山涼子	栗山裕至(教育学部)	県内外の教職員	美術	テーマ:生徒が自ら創造する美術科教育の授業づくり【鑑賞】暮らしに息づく土の造形 概要:自分の主題や課題を探究する学習過程の中で、深い学びを実現するために、造形的な見方・考え方が働く手立てについて研究を進めた。本題材では、身の周りの陶磁器を実際に手にとり、「比較する」ことで多面的に考察し、思考操作を用いて考えた。様々な陶磁器から自分のお気に入りの陶磁器を選択し、どのような点が良いと感じたのか、グループ内で意見を交換し、感じ方や考え方が広がることを学んだ。
附属特別支援学校					
2月2日(公開研究授業) 2月26日～3月22日(オンデマンド配信)	吉田智穂・橋本加奈子(附属特支)	芳野正昭(教育学部) 坂口百恵(佐賀県教育センター)	県内外の教職員等	生活単元学習	グループ研究テーマ:自分の思いを伝え、相手の思いを受け止める児童生徒の育成 単元名:お店やさんになろう
2月2日(公開研究授業) 2月26日～3月22日(オンデマンド配信)	蒲地誠・古川佳代(附属特支)	日高茂暢(教育学部) 林田憲明(佐賀県教育委員会教育振興課)	県内外の教職員等	生活単元学習	グループ研究テーマ:めあてに向かって工夫する児童生徒の育成 単元名:ようこそ☆中3科学館へ
2月2日(公開研究授業) 2月26日～3月22日(オンデマンド配信)	永石浩・後藤滋夫・田中麻記・森高真弥・岡智亜紀・川原哲朗(附属特支)	松山郁夫(教育学部) 末永茂寿(佐賀県立うれしの特別支援学校)	県内外の教職員等	美術	グループ研究テーマ:イメージを広げて表現する児童生徒の育成～好きなことから始めてみよう～ 単元名:立体であらわす～わたしの守り神～
代用附属本庄小学校					
教科等名					
代用附属西与賀小学校					
7月4日	松尾彩	大林将典	小4	算数	角の大きさの表し方を調べよう
10月31日	北島奈緒	大林将典	小1	算数	たしざん
11月14日	石崎極	達富洋二	小6	国語	自分の考えを伝える読書会をしよう～海のいのちは○○な物語～
代用附属城西中学校					
3)附属学校教員による学部学生への授業(教科教育法、教育実習事前・事後指導、教員養成実地指導等を含む)					
期日	指導者(所属)	共同研究者(所属)	対象	大学講義名	テーマ及び概要(200字以内)
附属幼稚園					
8月25日	岩永圭子 古瀬由季(附属幼)	栗山裕至(教育学部)	教育学部1年生	保育観察実習I 事前指導	5日間の幼稚園での保育観察実習を行うにあたって、幼児期の発達の特徴や本園の教育目標・本園の生活や遊びなどを知り、観察実習に向けての意欲を高め、目標をもって実習を行うおとする。
8月25日	岩永圭子 古瀬由季(附属幼)	松山郁夫(教育学部)・松信尚子(教育学部)	教育学部4年生	併免許 事前指導	2週間の幼稚園での教育実習を行うにあたって、幼児期の発達の得量や本園の教育目標・本園の生活や遊びなどを知り、教育実習に向けての意欲を高め、目標をもって実習を行うおとする。
9月1日～7日	岩永圭子 吉田美由紀 富村美月 古瀬由季(附属幼)	栗山裕至(教育学部)	教育学部1年生	保育観察実習I 保育参加	保育観察実習Iを受講する学生が保育参加等を通して、本園の保育や保育者としての援助の在り方を理解する。
9月13日～27日	岩永圭子 吉田美由紀 富村美月 古瀬由季(附属幼)	松山郁夫(教育学部)・松信尚子(教育学部)	教育学部4年生	併免許 保育参加	実習生が幼稚園の現場で、園児達の教育に携わり保育指導案を立てたり、省察を繰り返すことで幼児教育の理解を深められるようにする。
10月12日	岩永圭子(附属幼)	松山郁夫(教育学部)・松信尚子(教育学部)	教育学部4年生	併免許 事後指導	教育実習の成果、学んだことを話し合い、これから幼児教育を学ぶ上で必要なポイントを伝える。
附属小学校					
6月11日、8月21日	中尾通孝	教育実践フィールド演習III担当教員(学部)	教育学部3年生	教育実践フィールド演習III	教育実践フィールド演習IIIの授業観察、事前指導、打合せ
6月11日、8月21日	寺田隆宏	教育実践フィールド演習III担当教員(学部)	教育学部3年生	教育実践フィールド演習III	教育実践フィールド演習IIIの授業観察、事前指導、打合せ
6月11日、8月21日	御厨有花	教育実践フィールド演習III担当教員(学部)	教育学部3年生	教育実践フィールド演習III	教育実践フィールド演習IIIの授業観察、事前指導、打合せ
6月11日、8月21日	山本修三	教育実践フィールド演習III担当教員(学部)	教育学部3年生	教育実践フィールド演習III	教育実践フィールド演習IIIの授業観察、事前指導、打合せ
6月11日、8月21日	松尾達也	教育実践フィールド演習III担当教員(学部)	教育学部3年生	教育実践フィールド演習III	教育実践フィールド演習IIIの授業観察、事前指導、打合せ
6月11日、8月21日	廣瀬圭吾	教育実践フィールド演習III担当教員(学部)	教育学部3年生	教育実践フィールド演習III	教育実践フィールド演習IIIの授業観察、事前指導、打合せ
6月11日、8月21日	溝口賢一	教育実践フィールド演習III担当教員(学部)	教育学部3年生	教育実践フィールド演習III	教育実践フィールド演習IIIの授業観察、事前指導、打合せ
6月11日、8月21日	阿嘉明彦	教育実践フィールド演習III担当教員(学部)	教育学部3年生	教育実践フィールド演習III	教育実践フィールド演習IIIの授業観察、事前指導、打合せ
6月11日、8月21日	松下大介	教育実践フィールド演習III担当教員(学部)	教育学部3年生	教育実践フィールド演習III	教育実践フィールド演習IIIの授業観察、事前指導、打合せ
6月11日、8月21日	石松可奈子	教育実践フィールド演習III担当教員(学部)	教育学部3年生	教育実践フィールド演習III	教育実践フィールド演習IIIの授業観察、事前指導、打合せ

6月11日、8月21日	田中大介	教育実践フィールド演習Ⅲ担当教員(学部)	教育学部3年生	教育実践フィールド演習Ⅲ	教育実践フィールド演習Ⅲの授業観察、事前指導、打合せ
6月11日、8月21日	北島光浩	教育実践フィールド演習Ⅲ担当教員(学部)	教育学部3年生	教育実践フィールド演習Ⅲ	教育実践フィールド演習Ⅲの授業観察、事前指導、打合せ
6月11日、8月21日	堀元公幹	教育実践フィールド演習Ⅲ担当教員(学部)	教育学部3年生	教育実践フィールド演習Ⅲ	教育実践フィールド演習Ⅲの授業観察、事前指導、打合せ
6月11日、8月21日	矢川亮太	教育実践フィールド演習Ⅲ担当教員(学部)	教育学部3年生	教育実践フィールド演習Ⅲ	教育実践フィールド演習Ⅲの授業観察、事前指導、打合せ
6月11日、8月21日	島崎智明	教育実践フィールド演習Ⅲ担当教員(学部)	教育学部3年生	教育実践フィールド演習Ⅲ	教育実践フィールド演習Ⅲの授業観察、事前指導、打合せ
6月11日、8月21日	白井雄大	教育実践フィールド演習Ⅲ担当教員(学部)	教育学部3年生	教育実践フィールド演習Ⅲ	教育実践フィールド演習Ⅲの授業観察、事前指導、打合せ
6月11日、8月21日	本田 隆	教育実践フィールド演習Ⅲ担当教員(学部)	教育学部3年生	教育実践フィールド演習Ⅲ	教育実践フィールド演習Ⅲの授業観察、事前指導、打合せ
6月11日、8月21日	宮司健太郎	教育実践フィールド演習Ⅲ担当教員(学部)	教育学部3年生	教育実践フィールド演習Ⅲ	教育実践フィールド演習Ⅲの授業観察、事前指導、打合せ
6月11日、8月21日	中尾彩香	教育実践フィールド演習Ⅲ担当教員(学部)	教育学部3年生	教育実践フィールド演習Ⅲ	教育実践フィールド演習Ⅲの授業観察、事前指導、打合せ
6月11日、8月21日	小林佳愛	教育実践フィールド演習Ⅲ担当教員(学部)	教育学部3年生	教育実践フィールド演習Ⅲ	教育実践フィールド演習Ⅲの授業観察、事前指導、打合せ
6月11日、8月21日	渡島優衣	教育実践フィールド演習Ⅲ担当教員(学部)	教育学部4年生	教育実践フィールド演習Ⅲ	教育実践フィールド演習Ⅲの授業観察、事前指導、打合せ
11月28日、1月16日	中尾彩香	教育実践フィールド演習Ⅲ担当教員(学部)	教育学部2年生	教育実践フィールド演習Ⅱ	教育実践フィールド演習Ⅱの授業観察、事前指導、実地授業、事後指導
附属中学校					
4月12日	仲山知宏(附属中)	米田 重和(教職大学院)	学部学生等	教育実習事前指導	中学校数学科の教育と指導案作成について説明を行った。
10~11月	仲山知宏(附属中)	川中子 正(教育学部)	教育学部2年生	教育実践フィールドⅡ	教育実践フィールド演習Ⅱの事前指導及び打ち合わせ
10月18日	仲山知宏(附属中)	米田 重和(教職大学院)	学部学生等	教育実習事後指導	中学校数学科における望ましい学力と教科カリキュラムの開発について説明を行った。
12月14日	仲山知宏(附属中)	成松 美枝(教育学部)	教育学部1年生	教職概要	教員の職務と研修等に関する講話を行った。教員の職務について学生から質問を募り、返答した。
5月15日 5月29日	山岡貴秀	吉岡 剛彦 (教育学部)	学部生 (3年生)	教育フィールド演習Ⅲ	教育実習を9月に控える学生に対して、学校の日常(教員の業務など)や授業実践を紹介する。2回目の講義では質疑応答や補足説明を行った。
11月14日	山岡貴秀	岡本 託(教育学部)	学部生(2年生)	教育フィールド演習Ⅱ	大学2年生の模擬授業を見学し、講評とアドバイスをを行った。
1月19日	山岡貴秀	吉岡 剛彦 (教育学部)	学部生 (3年生)	小中連携教育研究	教育実習を9月に一度終了した学生に対して、中学校社会科の実践研究の方向性として、今年度の附属中学校での実践や、県全体の研究について、また今年度参加した全国各地の附属中学校の研究の様子を紹介した。
1月26日	山岡貴秀	吉岡 剛彦 (教育学部)	学部生 (3年生)	小中連携教育研究	教育実習を9月に一度終了した学生に対して、その時の経験を踏まえた上で、道徳教育の位置づけや小中連携で取り組んできた実践、総合的な学習の時間における探究学習の在り方について説明した。
附属特別支援学校					
7月5日	前田修之・溝口薫子・森崎由紀・吉富さつき・徳島崇	松山郁夫(教育学部)	介護等体験希望学生	介護等体験事前指導	附属特別支援学校の概要・各学部概要及び障害のある児童生徒への基本的な接し方についての講義を行った。
10月27日、11月10日、11月17日	溝口薫子(附属特支)	松山郁夫(教育学部) 芳野正昭(教育学部) 日高茂暢(教育学部)	特別支援教育専攻学生	特別支援教育専攻学生の学校訪問	1回につき1つの学部の授業参観(高等部:学習発表会に向けての生活単元学習、中学部:作業学習、小学部:学習発表会に向けての生活単元学習)を行った。施設見学や授業参観の後は、質疑応答の時間を設けた。
11月6日	大川和広・溝口薫子・森崎由紀・吉富さつき・徳島崇・原口毓美(附属特支)	松山郁夫(教育学部)	教育実習生	特別支援学校教育実習事前指導	附属特別支援学校における教育実習への見通しを立てるとともに、障害のある児童生徒の教育に携わるために必要な事項について知るところを目的とした講義を行った。
12月1日	山北史隆・小野真智子(附属特支)	松山郁夫(教育学部)	教育実習生	特別支援学校教育実習全体指導	附属特別支援学校のカリキュラムの中心となる各教科等を合わせた指導の概要及び指導案作成について、知的障害のある児童生徒への教育の基本について講義を行った。
12月14日	溝口薫子(附属特支)	松山郁夫(教育学部)	教育実習生	特別支援学校教育実習事後指導	実習における自身の取組を振り返り、今後の学生生活及び社会生活に生かすことを目的とした講義を行った。
12月20日	前田修之	松山郁夫(教育学部)	教育実習生	特別支援学校教育実習に係る実地指導	実習の振り返り及び佐賀県の学校教育全般の概要、教職に着くにあたっての心構え等に関する講義を行った。
1月15日	大川和広・溝口薫子・森崎由紀・吉富さつき・徳島崇・原口毓美(附属特支)	松山郁夫(教育学部)	教育実習生	特別支援学校教育実習事前指導	附属特別支援学校における教育実習への見通しを立てるとともに、障害のある児童生徒の教育に携わるために必要な事項について知るところを目的とした講義を行った。
2月16日	山北史隆・小野真智子(附属特支)	松山郁夫(教育学部)	教育実習生	特別支援学校教育実習全体指導	附属特別支援学校のカリキュラムの中心となる各教科等を合わせた指導の概要及び指導案作成について、知的障害のある児童生徒への教育の基本について講義を行った。
3月1日	溝口薫子(附属特支)	松山郁夫(教育学部)	教育実習生	特別支援学校教育実習事後指導	実習における自身の取組を振り返り、今後の学生生活及び社会生活に生かすことを目的とした講義を行った。
3月6日	前田修之	松山郁夫(教育学部)	教育実習生	特別支援学校教育実習に係る実地指導	実習の振り返り及び佐賀県の学校教育全般の概要、教職に着くにあたっての心構え等に関する講義を行った。

代用附属本庄小学校					
8月8日(火)	江口 将史(本庄小)		教育実習生	特別活動講話	特別活動の概要や実習授業に向けたポイントなどの講話を行った。実際に体験しながら、特別活動の重点となる合意形成や意思決定について理解を深めることができるようにした。
8月8日(火)	山下健太(本庄小)		教育実習生	道徳講話	特別の教科 道徳の概要や授業づくりのポイントについての講話を行った。教科化した背景や道徳科の目指す方向性・評価の在り方について、模擬授業を交えながら体験的に理解できるようにした。
8月28日(月)	山下 健太(本庄小)		教育実習生	授業講話	教育実習に参加するにあたり授業づくりについて講話を行った。単元づくり・授業構想の考え方・学習指導案作成等について実践を具体例として取り上げた。実際に授業を行っていく上での留意点などについても重点的に取り扱った。
9月29日(火)	山下 健太(本庄小)		教育実習生	模範授業研究会	本庄小5年2組の道徳科で模範授業を行い、授業に対する授業研究会を行った。授業者の授業づくりや手立ての意図、子供とのやり取りの中での臨機応変な対応などについて協議した。小学校での学習指導の工夫について活発な議論となった。
11月17日(火) 11月28日(火) 12月12日(火)	古賀 太一朗(本庄小) 鶴池 彰裕(本庄小) 遠藤 周平(本庄小)		教育実習生	教育実践フィールド演習II	教育実践フィールド演習IIの講義における実地授業の事前指導(指導案検討・模擬授業)・授業参観・事後指導を行った。国語科において、単元で子供が学ぶことができるように見直しをもたせることや指導事項が自然に身に付く言語活動を設定することの大切さについて重点的に議論した。
代用附属西与賀小学校					
6月11日	荒木 憲一	なし	本校教育実習生	教育実習 事前指導	今後の実習の流れ、単元開発の課題についての説明を行った。
7月19日	本村 一浩	なし	小の併免実習を受ける実習生	併免教育実習 事前指導	中・高などが主免実習である学生に向けて、小学校の発達段階に応じた指導について講話・演習を行った。
8月23日	荒木 憲一	なし	本校教育実習生	教育実習 直前指導	本校の指導方針、教育実習の進め方、実習における留意事項の説明を行った。
8月29日	本村 一浩	なし	本校教育実習生	教育実習 学校長講話	実習がスタートしたばかりの実習生に向けて、学校教育目標からどう受けて指導に生かすのかを講義した。
8月30日	宮島 雄二	なし	本校教育実習生	特別支援教育	特別支援教育について、現在の西与賀小の取り組み状況や指導、支援についての話をした。
8月30日	北村 裕子	なし	本校教育実習生	人権・同和教育	人権について、本校では子供たちにどう伝えているのか、集会や6年生の社会科の教科書を紹介しながら説明した。
8月31日	荒木 憲一	なし	本校教育実習生	教職研修	教職員の服務について、法律、条令、規則を挙げて説明を行った。本校の運営機構(組織、計画)を示し、学校の仕事を知らせた。
9月4日	西村 常裕(本庄小)	なし	本校教育実習生	日本語指導講話	佐賀市における日本語指導が必要な児童生徒の実態及び指導の現状を知らせた。また、学習言語能力と児童生徒とのかかわり方を説明した。
9月5日	梅木 恵子	なし	本校教育実習生	教育相談講話	教育相談の本校での取り組みと考察、傾聴の必要性と実践のやり方について説明した。
9月7日	江口 昌子	なし	本校教育実習生	健康安全・保健指導講話	
9月8日、21日	荒木 憲一	なし	本校教育実習生	事後指導	教育実習を終えて、教職現場に就くまでに自分が行うことを考えさせることで、教職に対する使命感、責任感をもとうとする気持ちを啓発した。
代用附属城西中学校					
教科等名					
4) 附属学校教員による大学院学生への授業(実践授業研究、他等を含む)					
期日	指導者(所属)	共同研究者(所属)	対象	大学講義名	テーマ及び概要(200字以内)
附属幼稚園					
附属小学校					
附属中学校					
11月29日	山岡貴秀	堤公一(教職大学院) 米田重和(教職大学院)	教職大学院1年生	授業実践の研究	道徳教育において、道徳的な見方・考え方を働かせる手立てが有効かどうか、授業を提供することで詳細な分析を学生に依頼することとした。
附属特別支援学校					

代用附属本庄小学校					
教科等名					
代用附属西与賀小学校					
教科等名					
代用附属城西中学校					
教科等名					
5) 附属学校教員の研究発表会による公開授業及び分科会への学部学生の参加					
期日	指導者(所属)	共同研究者(所属)	対象	大学講義名	テーマ及び概要(200字以内)
附属幼稚園					
2月12日	岩永圭子 吉田美由紀 富村美月 古瀬由季 横尾恵里 吉原真理子 永瀧磨夕 寺町幸代 武藤亜佐子(附幼)	石井宏祐 日高茂暢(教育学部)	県内外教育 保育施設関係者他	公開保育研究会	公開保育研究会の保育参観及び年齢別保育研究会の指導助言
附属小学校					
7月24日	附属小学校教員	教育学部(国語・理科・図画工作・外国語・道徳・特別活動・家庭)の共同研究者	県内の教職員	学部・小中教育研究発表会	学部・小中教育研究発表会での授業参観と研究会参加
7月25日	附属小学校教員	教育学部(算数・社会・音楽・体育・生活)の共同研究者	県内の教職員	学部・小中教育研究発表会	学部・小中教育研究発表会での授業参観と研究会参加
附属中学校					
附属特別支援学校					
2月2日	小野真智子・後藤滋夫・山北史隆(附属特支)	松山郁夫・芳野正昭・日高茂暢(教育学部)	教育学部学生	令和5年度公開授業研究会全体研究 提案	研究テーマ:生活を切り拓く児童生徒の育成を目指して~「思考力、判断力、表現力」を引き出す授業づくり~ 3年計画の2年次における全体研究の提案の後協議を行った。最後に助言をいただいた。
2月2日	後藤滋夫・相浦千枝・吉田智穂・森崎由紀・清口薫子・原口結美・橋本加奈子・徳一暎之・岡智亜紀	芳野正昭(教育学部)	教育学部学生	令和5年度公開授業研究会第1グル ープ授業研究会	グループ研究テーマに基づくグループ研究の取組の概要を提案した後に、研究授業の説明や自評等を行った。質疑応答と協議の時間を設定し、最後に助言をいただいた。
2月2日	池田桃子・川原哲朗・吉富さつき・高柳祐子・山北史隆・香月枝里子・蒲地誠・古川佳代・大島美和子	日高茂暢(教育学部)	教育学部学生	令和5年度公開授業研究会第2グル ープ授業研究会	グループ研究テーマに基づくグループ研究の取組の概要を提案した後に、研究授業の説明や自評等を行った。質疑応答と協議の時間を設定し、最後に助言をいただいた。
2月2日	酒井明子・道脇誠・田中麻記・徳島崇・谷川忠光・廣瀬優佳里・小柳浩貴・永石浩	松山郁夫(教育学部)	教育学部学生	令和5年度公開授業研究会第3グル ープ授業研究会	グループ研究テーマに基づくグループ研究の取組の概要を提案した後に、研究授業の説明や自評等を行った。質疑応答と協議の時間を設定し、最後に助言をいただいた。
代用附属本庄小学校					
教科等名					
代用附属西与賀小学校					
教科等名					
代用附属城西中学校					
教科等名					
6) 附属学校教員の研究発表会による公開授業及び分科会への大学院学生の参加					
期日	指導者(所属)	共同研究者(所属)	対象	大学講義名	テーマ及び概要(200字以内)
附属幼稚園					
附属小学校					
附属中学校					
附属特別支援学校					

代用附属本庄小学校					
教科等名					
代用附属西与賀小学校					
教科等名					
代用附属城西中学校					
教科等名					
7) 附属学校教員による学部学生への公開授業(学生の見学のみ)					
期日	指導者(所属)	共同研究者(所属)	対象	大学講義名	単元名又は本時の内容
附属幼稚園					
附属小学校					
附属中学校					
附属特別支援学校					
2月2日	廣瀬優佳里・小柳浩貴・弘瀬由紀菜	松山郁夫(教育学部)	教育学部学生	令和5年度公開授業研究会公開授業	第3グループの研究テーマに沿った公開授業、「A組節分会をしよう」の生活単元学習を行った。
2月2日	香月枝里子・池田桃子・山下野乃花	日高茂暢(教育学部)	教育学部学生	令和5年度公開授業研究会公開授業	第2グループの研究テーマに沿った公開授業、「おにぎりパーティーをしよう」の生活単元学習を行った。
2月2日	徳一暁之・相浦千枝	芳野正昭(教育学部)	教育学部学生	令和5年度公開授業研究会公開授業	第1グループの研究テーマに沿った公開授業、「磁石の不思議をつたえよう」の生活単元学習を行った。
2月2日	道脇誠・酒井明子・奥野梨奈	松山郁夫(教育学部)	教育学部学生	令和5年度公開授業研究会公開授業	第3グループの研究テーマに沿った公開授業、「A組さんにおもちゃのプレゼント」の生活単元学習を行った。
代用附属本庄小学校					
代用附属西与賀小学校					
9月1日	山下 能成	なし	本校教育実習生	算数	「計算のくふう」で、 $26+7$ の計算を、筆算を使わずに求める方法について考えさせた。これまでのたし算の学習を復習し、数を分解・合成をすることで10のまとまりをどのように作るかという見方・考え方を共有することで多様な考えを子供同士で交流し合えるようにした。
代用附属城西中学校					
8) 附属学校教員による大学院学生への公開授業(学生の見学のみ)					
期日	指導者(所属)	共同研究者(所属)	対象	大学講義名	単元名又は本時の内容
附属幼稚園					
附属小学校					
附属中学校					
附属特別支援学校					
代用附属本庄小学校					
代用附属西与賀小学校					
代用附属城西中学校					

8. 学部・附属園連携交流					
1) 学部附属交流教育(学生と児童生徒交流、部活動を含む)					
期日	指導者(所属)	共同研究者(所属)	対象	教科	テーマ及び概要(200字以内)
附属幼稚園					
附属小学校					
附属中学校					
附属特別支援学校					
代用附属本庄小学校					
教科等名					
代用附属西与賀小学校					
教科等名					
代用附属城西中学校					
教科等名					
2) 附属園連携教育(児童生徒の連携教育を含む)					
期日	指導者(所属)	共同研究者(所属)	対象	教科	テーマ及び概要(200字以内)
附属幼稚園					
附属小学校					
附属中学校					
附属特別支援学校					
10月5日	森崎由紀(附属特支)	堀元公幹(附属小)	附属小学校3年生児童	総合的な学習の時間	本校児童の様子や、特別支援学校における学習などの紹介を行った。
代用附属本庄小学校					
教科等名					
代用附属西与賀小学校					
教科等名					
代用附属城西中学校					
教科等名					
3) 附属園交流教育(児童生徒の交流教育を含む)					
期日	指導者(所属)	共同研究者(所属)	対象	教科	テーマ及び概要(200字以内)
附属幼稚園					
附属小学校					
附属中学校					
附属特別支援学校					

6月6日	森崎由紀・池田桃子・香月枝里子・橋本加奈子・吉田智穂・山下野乃花(附属特支)	鶴池彰裕(本庄小学校)	附属特別支援学校小学部B組・C組児童及び本庄小学校1年児童	生活単元学習	B組とC組の児童が附属特別支援学校小学部全クラスで作成したひまわりの苗のポットを、本庄小学校まで届けた。本庄小学校1年生の児童と対面し、挨拶をしたり苗を手渡したりした。
6月16日	森崎由紀・廣瀬優佳里・小柳浩貴・弘瀬由紀菜・池田桃子・香月枝里子・山下野乃花・橋本加奈子・吉田智穂・小野真智子(附属特支)	鶴池彰裕(本庄小学校)	附属特別支援学校小学部児童及び本庄小学校1年児童	生活単元学習	附属特別支援学校小学部児童全員と、本庄小学校1年生児童と一緒に、事前に手渡したひまわりの苗を含む花苗をプランターに植え、水やりを行った。数人のグループに本校の児童が1人ずつ入って、挨拶をしたり、一緒に活動したりして交流学習を行った。
7月19日	道脇誠・岡智亜紀・蒲地誠・永石浩・徳一暁之・後藤滋夫(附属特支)	岩永圭子(附属幼稚園)	附属特別支援教育中学部・高等部生徒及び幼稚園園児と保護者	中・高合同作業幼稚園販売会	将来の働く生活につながる活動として販売活動を実施した。幼稚園児やその保護者、園職員さんとの交流をしながら製品の販売を行った。
10月18日	廣瀬優佳里・小柳浩貴・弘瀬由紀菜(附属特支)	堀元公幹(附属小)	附属特別支援学校小学部A組児童及び附属小学校3年3組児童	生活単元学習	ICTを活用し、リモートでお互いの自己紹介を行った。事前に自己紹介カードを作成したり、自己紹介の練習を行ったりした。
10月25日	廣瀬優佳里・小柳浩貴・弘瀬由紀菜・森崎由紀(附属特支)	堀元公幹(附属小)	附属特別支援学校小学部A組児童及び附属小学校3年3組児童	生活単元学習	附属小学校を訪問し、グループ別で学校見学を行った。その後、附属小の児童が準備した複数の遊びに本校児童が自由に参加する形で、交流を深めた。
10月23日	池田桃子・香月枝里子・山下野乃花(附属特支)	山本修三(附属小)	附属特別支援学校小学部B組児童及び附属小学校3年1組児童	生活単元学習	ICTを活用し、リモートでお互いの自己紹介を行った。事前に自己紹介カードを作成したり、自己紹介の練習を行ったりした。
10月26日	池田桃子・香月枝里子・山下野乃花・森崎由紀(附属特支)	山本修三(附属小)	附属特別支援学校小学部B組児童及び附属小学校3年1組児童	生活単元学習	附属小学校を訪問し、双方で準備したレクリエーションを複数行って一緒に楽しんだ。本校では「かもつれっしゃ」のレクリエーションを準備した。
10月25日	橋本加奈子・吉田智穂・森崎由紀(附属特支)	島崎智朗(附属小)	附属特別支援学校小学部C組児童及び附属小学校3年2組児童	生活単元学習	ICTを活用し、リモートでお互いの自己紹介を行った。事前に自己紹介カードを作成したり、自己紹介の練習を行ったりした。
10月26日	橋本加奈子・吉田智穂・森崎由紀(附属特支)	島崎智朗(附属小)	附属特別支援学校小学部C組児童及び附属小学校3年2組児童	生活単元学習	附属小学校を訪問し、学校探検を一緒に行った。対面式ではプレゼント交換を行った。
12月19日	相浦千枝・川原哲朗・岡智亜紀・森高真弥・蒲地誠・奥野梨奈・大島美和子・永石浩・古川佳代・田中麻記・後藤滋夫(附属特支)	岩永圭子(附属幼稚園)	附属特別支援教育中学部・高等部生徒及び幼稚園園児と保護者	中・高合同作業幼稚園販売会	将来の働く生活につながる活動として販売活動を実施した。幼稚園児やその保護者、園職員さんとの交流をしながら製品の販売を行った。
12月20日	吉富さつき・高柳祐子・徳一暁之・相浦千枝・道脇誠・酒井明子・古川佳代・蒲地誠・奥野梨奈	宮崎沙織(城西中学校)	附属特別支援教育中学部生徒・城西中学校特別支援学級生徒	生活単元学習	佐賀県教育委員会から派遣されたALTと一緒に、クリスマス発表会を行った。城西中学校の生徒と一緒に英語に親しみながら交流を図った。
1月29日	岡智亜紀・後藤滋夫	岩永圭子(附属幼稚園)	附属特別支援学校高等部2年生生徒・附属幼稚園園児	総合的な探求の時間	「園児との交流に向け、自ら企画を立てて計画する力を身に付ける」ことを目的として学習を進め、交流会では生徒が園児への絵本の読み聞かせを行った。
	代用附属本庄小学校				
	代用附属西与賀小学校				
	代用附属城西中学校				

9. 論文等の協力						
1) 学部教員のアンケート、実験等の協力						
期日	協力依頼者(所属)	学部指導教員(所属)	協力者教員(所属)	対象者	教科	概要(200字以内)
附属幼稚園						
附属小学校						
10月23日～11月13日	井上伸一先生 (佐賀大学)			2年児童	体育科	近年スポーツテストにおいて低下していると言われている投動作について、短時間のトレーニングを行うことで投能力の向上、そしてその後継続することを検証するための実験を行った。
附属中学校						
附属特別支援学校						
代用附属本庄小学校						
代用附属西与賀小学校						
代用附属城西中学校						
教科等名						
2) 修士論文の協力						
期日	協力依頼者(所属)	学部指導教員(所属)	協力者教員(所属)	対象者	教科	
附属幼稚園						
附属小学校						
附属中学校						
附属特別支援学校						
代用附属本庄小学校						
教科等名						
代用附属西与賀小学校						
教科等名						
代用附属城西中学校						
教科等名						
3) 卒業論文の協力						
期日	協力依頼者(所属)	学部指導教員(所属)	協力者教員(所属)	対象者	教科	
附属幼稚園						
附属小学校						
附属中学校						概要(200字以内)
附属特別支援学校						
代用附属本庄小学校						
国語	中島 さくら(佐賀大学教育学部) 下村 友映(佐賀大学教育学部)	達富 洋二 (佐賀大学教育学部)	江里口 大輔(本庄小) 古賀 太一朗(本庄小) 鶴池 彰裕(本庄小) 遠藤 周平(本庄小)	本庄小学校 1・2・4・6年児童	国語	音読することと黙読することにおける読み取りの理解の差についての調査に協力をした。

代用附属西与賀小学校						
教科等名						
代用附属城西中学校						
教科等名						
10.その他大学(附属)への協力						
期日	協力依頼者(所属)	学部指導教員(所属)	協力者教員(所属)	対象者	教科	
附属幼稚園						
附属小学校						
附属中学校						
2023年6月～2024年1月まで (連続10日間+週に1回)	重松孝信 (教職大学院1年生)	後藤大二郎 (教職大学院)	山岡貴秀	1年4組生徒	総合的な学習の時 間	教職大学院の異校種実習において、「探究的な学びの個別最適化」をテーマに、毎時間の授業における生徒の変容を見取り分析を行った。自身の専門領域などを生かして、机間指導に入っていた。
附属特別支援学校						
代用附属本庄小学校						
教科等名						
代用附属西与賀小学校						
教科等名						
代用附属城西中学校						
教科等名						

11.要項書議に関わる研究会(指導案検討を含む)	
教科等名	期日
附属小学校	
全教科等	2024年5月30日、31日、3月26日、27日
算数科	2024年6月22日、7月6日
音楽科	6月、7月、2月
体育科	6月、7月、11月、2月
社会科	6月、7月、2月
附属中学校	
国語	5/8 6/26 8/3 8/4 10/23 2/7 2/26
社会	5/8 6/26 8/3 8/4 10/23 2/7 2/26
数学	5/8 6/26 8/3 8/4 10/23 2/7 2/26
理科	5/8 6/26 8/3 8/4 10/23 2/7 2/26
英語	5/8 6/26 8/3 8/4 10/23 2/7 2/26
音楽	5/8 6/26 8/3 8/4 10/23 2/7 2/26
美術	5/8 6/26 8/3 8/4 10/23 2/7 2/26
保健体育	5/8 6/26 8/3 8/4 10/23 2/7 2/26
技術	5/8 6/26 8/3 8/4 10/23 2/7 2/26
家庭	5/8 6/26 8/3 8/4 10/23 2/7 2/26
学校保健	5/8 6/26 8/3 8/4 10/23 2/7 2/26
研究概要	5/8 6/26 8/3 8/4 10/23 2/7 2/26
附属特別支援学校	
生活単元学習	芳野正昭先生(教育学部)との検討会 7月20日、9月15日
生活単元学習	日高茂暢先生(教育学部)との検討会 6月20日、9月8日、9月15日、9月21日、12月5日、1月23日
数学・生活単元学習・美術	松山郁夫先生(教育学部)との検討会 5月24日
代用附属本庄小学校	
特別支援	4月26日、6月22日、6月26日、7月6日、7月12日、7月28日、7月31日、8月24日、10月18日、10月24日、11月21日、11月30日、1月23日、2月9日、2月21日
国語科	5月12日、10月10日、10月17日、10月31日、11月7日、11月25日、2月9日

算数科	5月11日、6月22日、8月2日、10月26日、11月30日
特別活動	5月1日、7月4日、7月28日、8月1日、10月20日、10月23日、11月27日、2月5日、2月9日、3月25日
道徳	4月28日、6月29日、6月27日、8月1日、10月31日、11月1日、11月30日、2月7日、2月9日、3月19日
体育科	5月1日、6月19日、7月6日、8月2日、10月26日、11月7日、11月27日、12月18日、1月30日、2月2日、2月6日、2月9日、2月13日、2月16日
社会科	5月1日、6月15日、6月19日、7月31日、10月30日、2月9日
理科	5月1日、6月28日、6月29日、7月3日、8月2日、10月27日、11月9日、11月10日、11月28日、2月9日
代用附属西与賀小学校	
特別支援	全校研の授業を行うにあたっての方向性や指導・支援のあり方についての打ち合わせの際、日高先生よりアドバイスをいただいた。

12.学部・附属の教員による連携研究会				6
部会名	教科等名	参加学校名	研究会の頻度	概要(200字以内)
附属幼稚園				
附属小学校				
佐賀造形教育学習会	図画工作科	附属小学校	毎月1回	図画工作科教育について、実践発表や実技を通して学ぶ。
佐賀大学数学教育学習会	算数科	附属小学校、佐賀大学	毎月1回	研究論文、修士論文、研究授業の検討会を通して実践的に算数科教育について学ぶ。
学部小中国語科学習会	国語科	附属小中	毎月1回	研究や授業づくりについて学ぶ。
若手教員授業力向上学習会	国語科	附属小と県内小学校教員	毎月1回	教材分析、授業計画を立て、実践して改善方法を探る。
佐賀県保健体育研究会 授業研究会	体育科	県内教職員	年間4回	公開授業と授業研究会をして研鑽を深めている。
佐賀県保健体育研究会 定例会	体育科	県内教職員	毎月1回	月に一度オンラインで体育の授業実践を報告し合い、今後の授業について語り合う場を設けている。
造形教育学習会	図画工作科	県内小学校教員	毎月1回	造形教育についての研究や授業づくりについて、定期的に学習会を開いている。
附属中学校				
算数・数学定期勉強会	数学科	学部・附属小・附属中・	月1回	小中連携教育に関する授業実践研究、最新の教育情報共有化などに取り組んだ。
社会科定期勉強会(二金会)	社会科	学部・院・附属中・	月1回	教育理論に関する勉強(輪読など)や、参加者の実践の共有などに取り組んだ。
学校保健勉強会	学校保健	学部・附属小・附属中養護教諭	不定期	小中連携教育に関する授業実践研究、最新の教育情報共有化などに取り組んだ。
附属特別支援学校				
養護教諭部会	保健室運営	附属幼稚園・附属小学校・附属中学校・附属特別支援学校	今年度2回実施	児童生徒の健康問題、学校医・学校薬剤師の年間を通した連携(活用)について、養護教諭の授業参加に関してなど、各校の課題を情報共有・協議した。
コーディネーター研修会	特別支援教育	附属幼稚園・附属小学校・附属中学校・附属特別支援学校	今年度5回実施	附属幼稚園・附属小学校・附属中学校・附属特別支援学校の持ち回りで事例を上げて検討会を行った。最終回では、佐賀大学教育学部日高茂暢先生の講義を実施した。
代用附属本庄小学校				
SPS	理科	本庄小学校、教育センター、附属小学校、勸興小学校	月に1回	研究、理科の授業、ICTの活用など、学校教育について各自持ち寄った内容についての話をする会
代用附属西与賀小学校				
代用附属城西中学校				

13.その他				
名称	期日	氏名(所属)	対象	概要(200字以内)
附属幼稚園				
初任者研修	6月12日・12月13日	名倉一美(教育学部)	初任者(古瀬由季)	初任者の保育参観及び指導助言
園内研究	4月10日・4月24日・5月15日・5月31日・7月3日	名倉一美(教育学部)	附属幼稚園教員	園内研における指導助言
入園面接時の立ち会いによる発達検査及び判定会議(一次・二次募集)	11月14日・11月15日・1月25日	大野愛哉(教育学部)	入園希望児	発達の検査
入園面接三次募集判定会議	3月12日	名倉一美(教育学部) 大野愛哉(教育学部)	入園希望児	発達の検査
教育相談	7月3日	芳野正昭(教育学部)	附属園児の保護者	幼児保護者への教育相談
教育相談	5月26日・6月7日・7月3日・7月21日・7月27日・10月16日・11月10日・12月4日・12月13日・1月18日・1月25日・3月5日・3月11日	武藤亜佐子(附属幼)	附属園児の保護者	幼児保護者への教育相談
ばんだのおへや	11月6日・1月18日	石井宏祐(教育学部) 武藤亜佐子(附属幼)	地域の未就園児	未就園親子の相談
附属小学校				
入学試験一次選考の立ち会い	12月23日	今井治人・石井宏祐(教育学部)	担当職員(附属小)	入学希望者の総合発達検査内容や合否判定について協力を得る。
入学試験判定会議への協力	12月25日	石井宏祐(教育学部)	担当職員(附属小)	合否判定への協力
附属中学校				
附属特別支援学校				
特別支援教育巡回相談	6月5日	満口薫子・森崎由紀(附属特支)	附属中学校管理職、対象生徒、対象生徒担任、附属中特別支援教育コーディネーター	対象生徒参加の授業を参観し、その後の検討会で教室の環境整備を含めた対象生徒への支援について話し合った。
GIGAスクール構想推進に係る研修会	7月28日	和久屋寛(教育学部)	附属特別支援学校教員	GIGAスクール構想に対応するアプリの活用について
教育相談に係る研修会	7月6日・7月27日・8月21日	石井宏祐(教育学部)	附属特別支援学校教員	障害のある児童生徒への適切なかわり方
教育相談	5月17日・6月14日・7月19日・7月20日・9月12日・9月20日・10月18日・11月15日・12月12日・1月17日・1月25日・1月29日・2月14日・2月20日・2月26日・3月4日	大野愛哉(教育実践センター)	附属特別支援学校児童生徒・保護者	教育相談及びカウンセリング
令和5年度第2回特別支援学校特別支援教育コーディネーター会	2月19日	大野愛哉(教育実践センター)	附属特別支援学校を含む佐賀県立特別支援学校特別支援教育コーディネーター	講話「発達障害のある児童生徒支援や保護者支援について」

編集委員

- 松山 郁夫 (附属教育実践総合センター長 [併])
○和久屋 寛 (附属教育実践総合センター)
石井 宏祐 (附属教育実践総合センター)
松信 尚子 (附属教育実践総合センター)
大野 愛哉 (附属教育実践総合センター)
岡本 託 (言語・社会系グループ)
今井 治人 (実技系グループ)
岩崎 稔敦 (附属小学校)
真子 靖弘 (附属中学校)
前田 修之 (附属特別支援学校)
岩永 圭子 (附属幼稚園)

(○は編集委員長)

佐賀大学教育実践研究
(旧『教育実践研究指導センター紀要』)

第42号

別冊《令和5年度 学部・附属共同研究実績報告書》

令和6年5月31日 発行

編集兼発行者 佐賀大学教育学部
附属教育実践総合センター
〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地
佐賀大学教育学部内
Tel. 0952(28)8214
Fax. 0952(28)8219
